

図書案内 2016年 10月号

担当 2-1H 杉谷 2-7H 高橋

気温も下がり、涼しげな秋の風が感じられる今日このごろ。読書の秋にふさわしいさわやかな季節になりました。今回はそんな秋にピッタリな、読んで穏やかな気持ちになれる本を紹介します。行事などが続いて体に疲れが溜まっているころだと思います。これらの本を手にとって、ゆっくり読書してはいかがでしょうか。図書館にて貸出しています。



妖怪アパートの幽雅な日常

香月 日輪／著

多くの読者に愛され、漫画化もされている人気作品です。不思議なアパートである「妖怪アパート」に導かれた主人公・稲葉夕士を中心として織り成される心温まる物語で、読んでいる僕たちも、妖怪アパートに住みたい！ と思ってしまいます。また、賄い人のりり子さんの出すおいしそうな料理の描写も魅力的です。是非手にとって読んでみてください。

全10冊シリーズ
+
番外編2冊



『小市民』シリーズ(全4冊)

米澤 穂信／著

「人の死なないミステリ」の書き手として知られる著者が書いたシリーズです。この著者は日常に潜む謎を取り上げた物語を多く書いており、このシリーズでも『小市民』をめざす主人公の小嶋君と小佐内さんが家や学校内、町で起こる不思議な物事を解き明かしていきます。

しかしそれだけではありません。この主人公たちは小市民を目指していますが、それはもちろん訳あってのことなのです。

実は、小嶋君は、根っからの探偵気質だったのです。小・中と、身のまわりで起こることを自慢の頭脳で解決してきた彼ですが、その探偵気質ゆえの勿体ぶった態度が災いして手ひどいしっぺ返しを食い、もう目立たないようにと小市民を目指すようになったのです。もう一人の主人公・小佐内さんの「訳」は……？ この続きはご自分で読んでお確かめください！

花が咲く頃いた君と

豊島 ミホ／著

今を生きる学生たちの、少し甘酸っぱい青春物語の短編集です。恋愛に悩む二人の女子の友情や、1人の女の子が出会った「おじさん」との奇妙な関係、そして1人の女の子とそのおじいちゃんとの絆など、心温まりながらも、悲しく、切ない物語も描かれています。4編掲載された短編集。お手軽なので、是非読んでみてはいかがでしょうか。

